

目標達成計画

事業所名 社会福祉法人法人 若穂会
グループホーム あい

作成日: 平成 23 年 4 月 22 日

別紙
2

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップに向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	(身体拘束をしないケアの実践) 家族から安全のため拘束や鍵かけ等の要望があった場合でも、身体拘束を正当化しないよう再度、職員間で熟慮する。	身体拘束の内容とその弊害を認識し、身体拘束をしないケアの実践に取り組む。	高齢者の身体拘束に関する勉強会を実施し、職員の共有認識を図る。運営推進会議等でご家族様への参加を促し一人ひとりに予測されるリスクを話し合い納得の上、抑圧感のない暮らしを支援していく。また状況変化に依っても繰り返し話し合いを行い理解を深める。	12か月
2	2	(事業所と地域とのつきあい) 行事へのご案内を含めて、日常的な地域との交流を図る。災害時の支援・協力体制を構築する。認知症ケアや認知症について地域の方々にご理解をいただく。	グループホームあいが地域の一員として、地域との交流を進める。	行事案内、散歩時のあいさつ。地域行事への参加。地域の防災会議や訓練に参加する。日常的な相談を受け付けに加えて、地域での認知症ケア教室を開催する。	12か月
3	14	(同業者との交流を通じた向上) 認知症ケアの向上と共に、職員の可能思考・感謝力の向上、同業者との交流を通じたの向上。	ケアプランを充実させ、入居者様お一人お一人に合ったケアを実践する。外部研修への参加と伝達講習、職場内勉強会を定期的実施する。	外部講師やグループ内の専門職を招いての勉強会を実施する。外部評価後は、1週間以内を目標に伝達講習や意見交換を行う。認知症実践者研修、ヘルパー講習を通じての同業者との交流を継続する。行事や勉強会に同業者を招く。介護福祉士やケアマネジャーの勉強会をする。	12か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo. を記入して下さい。